

「態様の異なる就労困難者への横断的支援方策検討部会」について
(略称：横断的支援部会)

1 部会設置の趣旨

これまで実施してきた「ひきこもり者」、「難病患者」、「刑余者」、「LGBT」の各分野の有識者ヒアリングを踏まえ、それぞれの分野の就労支援に向けた困難の背景や課題を整理しながら、さらなる就労支援方策のあり方について、現場の声を反映し、かつ、分野横断的な視点も盛り織り込みながら、検討を行う部会として、**WORK!DIVERSITY** プロジェクトに位置付ける。

2 部会員

- (部会長) 池田徹 生活クラブ風の村理事長
(部会員) 伊藤正俊 KHJ全国ひきこもり家族会連合会理事長
岡崎淳一 元厚生労働審議官
蒲原基道 元厚生労働事務次官
田中秀明 明治大学大学院グローバル・ガバナンス研究科教授
辻邦夫 日本難病・疾病団体協議会常務理事
三宅晶子 ヒューマン・コメディ代表
薬師実芳 ReBit (リビット) 代表理事

3 これまでの経緯と今後の進め方

- (1) 令和3年3月23日 第1回の会合を開催
- 各部会員から各分野における就労支援の課題や今後の議論の進め方について、フリーディスカッションを行った。
- (2) 令和3年6月28日 19:00～21:00 第2回会合を開催予定
- 先進事例として、東近江圏域働き・暮らし応援センター”Tekito”センター長、野々村光子さんからの報告。
 - 就労支援手法として有効とされるIPS手法について、静岡方式を牽引する静岡県立大学教授津富宏さんから解説。
 - 今後の具体的な議論の進め方について、部会員で議論。
- (3) 今後の議論の進め方
- 各分野独自の課題・対策と横断的な検討が可能な課題・対策を整理の上、具体的な就労支援方策の検討を行う。
 - 本年度は、年度内4回程度の開催を予定し、めざす就労支援方策の青写真の提示と、直ちに取り組むべき具体的な方策の提言をめざす。